



そもそも投資って何？ —ギャンブルとどこが違うのか

投資という言葉には「難しそう」「ギャンブルみたいで不安」というイメージがつきまといがちです。しかし、本来の投資は“偶然に賭ける行為”ではなく、“**企業や社会の成長にお金を投じ、その成果を長期で受け取る仕組み**”です。では、ギャンブルとどこが違うのでしょうか。

大きな違いは「期待値」と「目的」です。

ギャンブルは参加者全体で平均すると必ずマイナスになる“**負けが前提の仕組み**”。参加者が出したお金の一部が「胴元の取り分」として差し引かれるため、参加者全体で見ると“最初から全体が減っていく構造”になっています。

誰かが勝っても、全体の合計は減っていく——これがギャンブルの本質です。

一方で投資は、**世界経済や企業の成長が積み重なることで、長期的にはプラス**が期待できることが歴史的に実証されています。

言い換えると、ギャンブルはゼロサム（**奪い合い**）、投資はプラスサム（**社会全体が成長し、その果実を“みんなで分け合う”仕組み**）です。

企業型DCは、この“プラスサムの世界”を社員が無理なく活用できる制度です。掛金は毎月コツコツ積み立てられ、長期・分散・複利の効果が自動で働きます。そのため、“投資は初めて”という社員でも、**制度に乗るだけで成長のサイクルに参加**できます。

人材の確保が難しくなるなか、会社が“**社員の未来づくりを後押しする制度**”を整えているか否かは、採用力や定着率に直結します。まずは、会社が**どこまで社員の資産形成を支えるか**、その軸を明確にするところから始めてみませんか。



🔔 次号予告（2026年1月号）

今回は、「長期・分散・積立——DCが会社の退職金制度として選ばれる理由」をテーマにお届けします。投資の前提を踏まえつつ、企業型DCを導入することが、自社の人事・退職金戦略にどんな意味を持つのかを整理します。

企業型DC
特設サイト

CLICK

資料請求は
こちらから

CLICK



マンガが動画になりました！

企業型DC導入支援実績 **1,000** 社！

SOKEI DC Alliance

株式会社マウンティン

☎ 03-3911-4649

✉ 401k@mountain.co.jp